

# 都道府県 CI・予測 CI（景気動向指数・7月予測） ～消費・生産分野が回復しプラス

2022年7月5日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

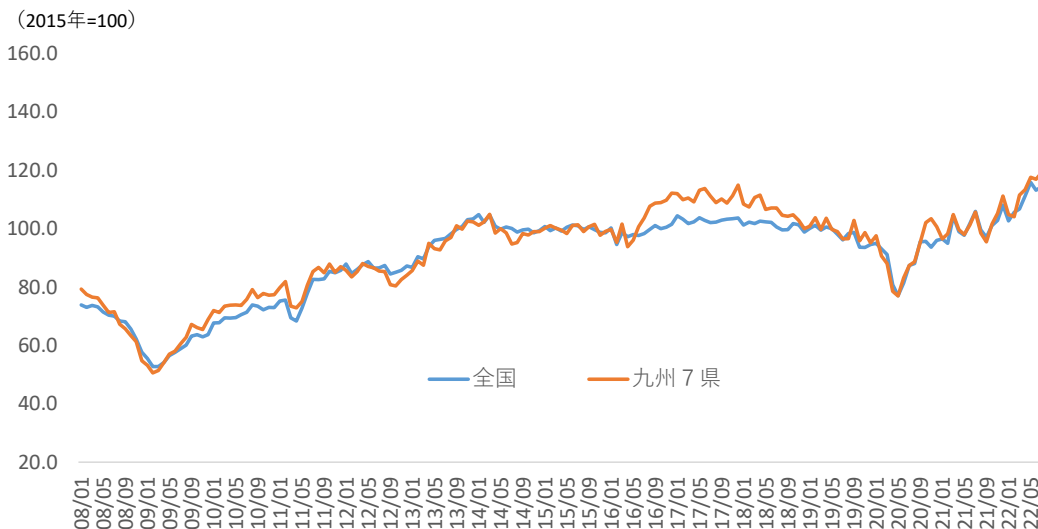
九経調では、2020年4月から全国の地域ブロック別、都道府県別の景気動向指数（都道府県 CI）<sup>i</sup>を作成し公表している。加えて、政府統計等が公表されていない足元までの期間について、インターネット上の日次データや機械学習の手法を用いて、都道府県 CI の3カ月先を予測した景気動向指数の予測値（予測 CI）<sup>ii</sup>を DATASALAD にて公表している。本稿では、2022年6月末日までの統計、インターネット上のビッグデータを用いて推計した2022年7月の予測 CI を解説する。

## 2022年7月の九州7県の予測 CI：2カ月ぶりプラス

2022年7月における九州7県の予測 CI は前月比+1.9%の119.3となり、2カ月ぶりにプラスとなった。都道府県 CI は、新型コロナウイルス感染者の減少等に伴う緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除により2021年10月にプラスに反転した。ただし、コロナ感染拡大第6波の影響が顕在化し、2022年1月と2月にマイナスとなった。その後、5月まで持ち直していたが、6月にマイナスに転じ足踏み状態となった。7月予測値は、個人消費が回復したほか、輸送用機械や電子部品等の生産見通しも回復したことからプラスとなった。

なお、全国は前月比+1.0%の114.4となった。九州と同様に消費・生産分野の先行系列が回復したことが要因である。

図1 都道府県 CI、予測 CI（全国、九州7県）



注1) 2022年4月までは実績値（都道府県 CI）、2022年5月～7月は予測 CI

注2) 2022年7月1日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

## 2022年7月の九州地域の予測CI：9県中7県でプラス

2022年7月における九州地域（九州7県・沖縄県・山口県）の予測CIを県別にみると、9県中7県でプラスとなった。佐賀県、大分県の2県は横ばい圏内のマイナスで推移したが、その他7県は概ね回復傾向となった。伸びが大きい熊本県（前月比+11.6%）は生産分野の先行系列が他県より上昇した。福岡県（同+2.9%）、宮崎県（同+5.6%）、鹿児島県（同+3.2%）、沖縄県（同+5.4%）は消費分野の先行系列の上昇寄与度が大きい。

表1 都道府県CI、予測CI（全国、九州地域）

	指数（2015年=100）						前月比（%）					
	都道府県CI			予測CI			都道府県CI			予測CI		
	2022年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	2022年 2月	3月	4月	5月	6月	7月
全国	105.6	106.8	111.2	115.9	113.3	114.4	2.8	1.1	4.1	4.2	▲2.3	1.0
九州7県	104.1	111.6	113.4	117.6	117.0	119.3	▲0.8	7.2	1.6	3.7	▲0.5	1.9
山口県	93.3	95.1	97.3	107.3	106.4	107.3	3.3	1.9	2.3	10.3	▲0.8	0.9
福岡県	98.4	101.4	101.1	103.4	103.1	106.2	▲3.8	3.0	▲0.3	2.3	▲0.3	2.9
佐賀県	79.4	80.0	87.0	94.2	92.4	91.9	▲1.7	0.8	8.7	8.3	▲1.9	▲0.5
長崎県	100.6	99.1	109.0	110.5	111.5	112.9	▲1.4	▲1.5	10.0	1.4	0.9	1.3
熊本県	114.4	124.0	122.8	122.4	118.0	131.7	0.7	8.4	▲1.0	▲0.3	▲3.6	11.6
大分県	83.6	98.6	108.3	106.7	106.4	106.2	▲15.8	17.9	9.8	▲1.5	▲0.3	▲0.3
宮崎県	103.1	108.1	105.6	109.9	103.7	109.5	▲4.9	4.8	▲2.3	4.1	▲5.6	5.6
鹿児島県	110.3	120.1	125.3	131.9	130.5	134.7	2.9	8.9	4.3	5.3	▲1.1	3.2
沖縄県	90.5	98.4	109.6	112.4	102.7	108.3	16.0	8.7	11.4	2.6	▲8.6	5.4

注1) 2022年4月までは実績値（都道府県CI）、2022年5月～7月は予測CI

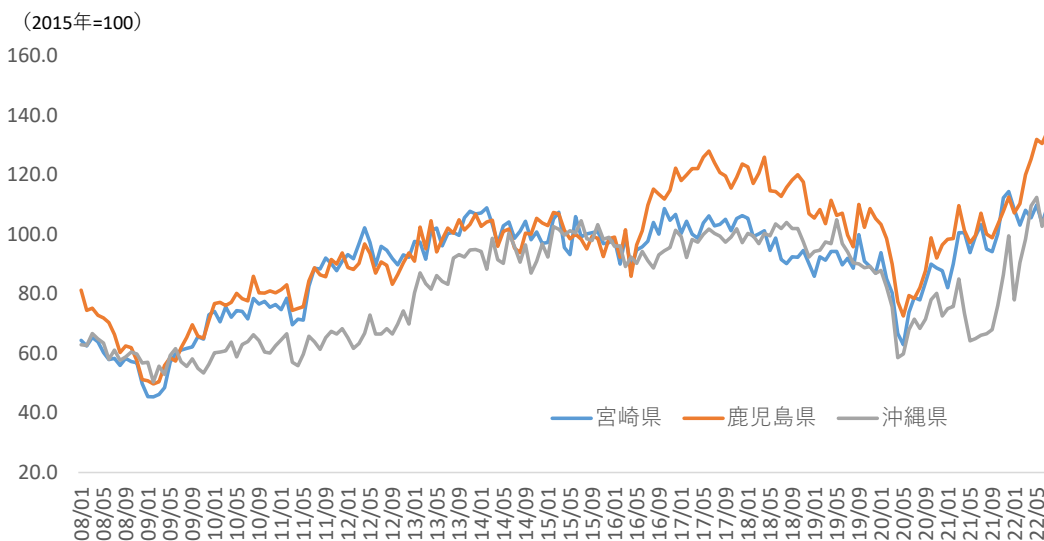
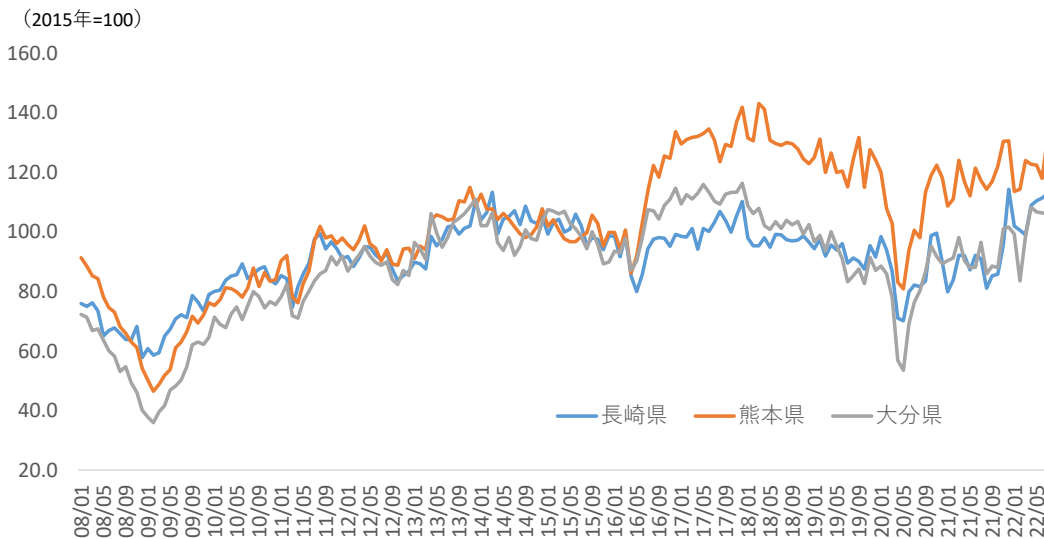
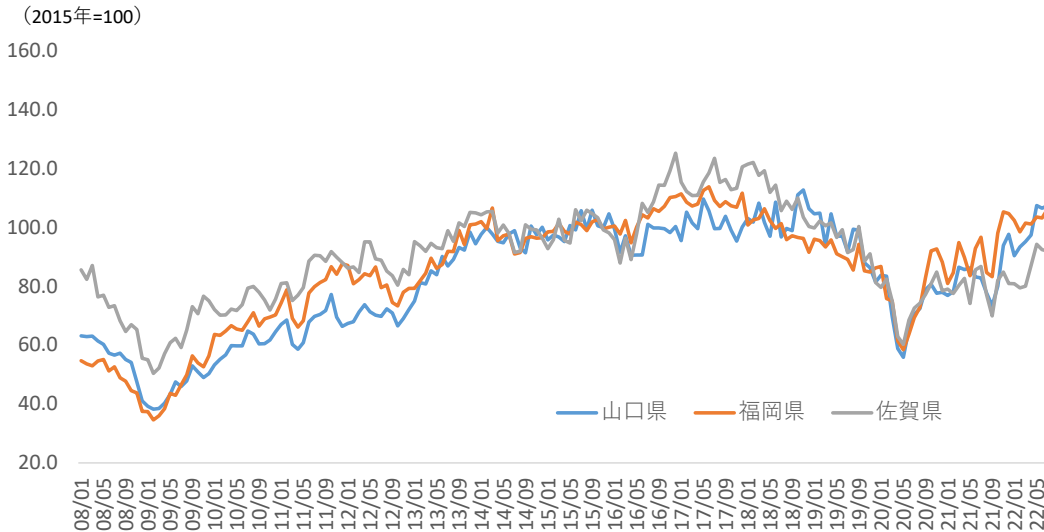
注2) 2022年7月1日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

松嶋 慶祐（調査研究部 次長）

E-mail:matusima@kerc.or.jp

図2 都道府県 CI、予測 CI (県別)



注1) 2022年4月までは実績値(都道府県CI)、2022年5月~7月は予測CI

注2) 2022年7月1日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

---

i 景気動向指数（CI）は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握を行うための総合指数である。九経調が公表している都道府県 CI は、内閣府が公表する CI の作成方法を踏襲し、さらに都道府県・地域で共通する指標を用いつつ、景気変動を反映する主要分野の動向を網羅している。このことにより、的確に地域の景気動向を把握することができ、さらに、都道府県間、地域間での比較が可能である。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐、三井栄「CI 手法の応用による九州地域の景気分析と景気予測の可能性」九州経済調査月報 2019 年 11 月号

ii 予測 CI は、機械学習を用いた線形回帰モデルを用いて、都道府県 CI を予測したものである。経済指標のほか、気象データ（気温や降水量）など、景気の動向に影響を与えると想定されるデータを説明変数として投入し、機械学習によってモデルを作成している。予測 CI は全国、地域ブロック、九州地域（九州、沖縄県、山口県）の県別値のみ推計している。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐「日次データと機械学習の活用による景気予測」九州経済調査月報 2020 年 1 月号